



小林市立小林小学校

校長通信

令和6年4月15日

第49号

(文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3510

E-mail:1401eb@miyazaki-c.ed.jp

## 「学校愛」を育てる

そのための目標は去年と同じ次の3つです。

四月八日に始業式、そして十二日には入学式で新入生を迎え、令和六年度のスタートを切りました。新しい年度を迎える時、大人でも改まった気持ちになるものですが、子どもたちもまた、教室が変わり、先生が変わり、学級の友だちも入れ替わる大きな変化を迎えています。言葉に出なくても緊張や不安があるのは当然です。どうか、お子さんのお話に耳を傾けていただき、一緒に受け止めていただければ幸いです。

子どもたちがこれから成長し、また大人になっても、ずっと経験する「四月」です。自分の環境の変化を乗り越えていくこともまた、身に付けて欲しい力の一つです。そんな時「いい友達だね。」「いい学級になったね。」の一言でぜひ、子どもの不安や緊張を安心と期待に変えていただきたいと思います、

本年年度の学校経営のスローガンは昨年度と同様「みんなで考え みんなでつくる みんなで迎える」を掲げ、今年度もこのスローガンを軸に、子どもたちの成長を支援し、保護者や、まちづくり協議会の皆さんの御支援のもと、創立百五十周年記念事業や「シン・小林小まつり」の復活などの実績を重ねてきました。そして、このような活動の中で本校を卒業された先輩方や、わが子やわが孫を通わせていらっしやる皆さんと触れ合うたびに「小林小学校を大切に思う気持ちの強さ」を感じました。私自身もこんなに愛されている学校に携わる一人であることに大きな喜びを感じています。

一方、子どもたちはコロナ禍の三年間でとても窮屈な思いをしてきました。何事も受け身の姿勢になりがちだったことも仕方ないでしょう。

昨年年度からようやく学校やPTA、地域の行事で楽しい学校・地域生活を取り戻し始めたところですが、子どもたちにとっては、まだ大人が用意したものを与えられている状況のようです。そこで本年度は、主役である子どもたちが、もっと学校づくりに関わる意識を高くもつことと、その喜びを感じ、自分の学校の良さを感じて、素直に「小林小学校が好き」と言える「学校愛」を育てたいと考えています。

子どもたちが、自ら学校をよくしていこうとする活動を先生が導き、保護者がサポートし、地域が見守る体制をつくりたいと思います。

特に登校中のあいさつの声に元気が欲しいところです。朝、はつらつとした声が出るように心がけましょう。

昨年年度も、このスローガンの実現を目指し、保護者や、まちづくり協議会の皆さんの御支援のもと、創立百五十周年記念事業や「シン・小林小まつり」の復活などの実績を重ねてきました。そして、このような活動の中で本校を卒業された先輩方や、わが子やわが孫を通わせていらっしやる皆さんと触れ合うたびに「小林小学校を大切に思う気持ちの強さ」を感じました。私自身もこんなに愛されている学校に携わる一人であることに大きな喜びを感じています。

### 春先の安全確保

他県では、警報機や遮断機のない踏切で小学生が亡くなる悲しい事故が起きました。学年も変わり、子どもたちの行動範囲にも変化が見られます。どこで、だれと遊んでいるか？ 子どもたちの様子に気を配っていただくようよろしくお願いいたします。



**「みんなで考え**

**みんなでつくる みんなの小林小学校」**

**(学校長メッセージ)**

令和6年度も「みんなで考え みんなでつくる みんなの小林小学校」を学校づくりのテーマとします。

子どもが育つ姿そのものが学校の姿です。当然、子どもの姿を形づくることは、先生だけでできるものではありません。子ども自身と、子どもをとりまく大人たちすべてが学校づくりの当事者意識、仲間意識をもつことが重要です。

そのためのキーワードが「みんな」です。

「みんな」とは主役の「子ども」、指導する「先生」、サポートする「保護者」、そして支える「地域」です。それぞれがお互いにできないところは助け合い、足りないところは補い合い、うまくいかないところはみんなで受け止めながら、「よりよい自分たちの学校にしていく」営みが「みんなでつくる学校」の姿です。

本年度は特に「学校愛」を育てる教育活動の充実を目指します。「自分の学校をよりよくしていくには何ができるか。」改めて子どもたちと一緒に出発点に立って取組を始めます。保護者の皆さんも、地域の皆さんも「わが子が通う学校」「わが地域の学校」として一緒に考えることから始めましょう。言いにくかったことや、遠慮されていたことも、自分たちの学校のために出し合いしましょう。しかし、人を非難することでは「問題」は解決しません。みんなが当事者であり、仲間ですから、「問題」はみんながみんなの「課題」として受け止める姿勢を持ちましょう。課題解決のために「ひとつと」ではなく「自分ごと」として原因を探り、「みんな」でより良い方向を見付けましょう。

そのような思いをこのテーマに込めています。

本年度も「みんなで考え みんなでつくる みんなの小林小学校」の実現に御理解と御協力をお願いいたします。



令和6年4月1日

校長 吉井 秀一